



学校だより

宮古島市立北小学校
第3号
文責 呉屋 武志

「1年生のスタートカリキュラム等の授業が始まりました！」

1年生の入学当初は、他学年のように机に座っての勉強ではありません。幼稚園やこども園等で培った遊びを通した学びの時間が確保されています。自分の好きな遊びでは、お絵かきをしたり紙飛行機を折って飛ばしてみたりしています。また、みんなで遊ぶでは、じゃんけん列車をしたり遊具遊びをしたりしている姿が見られました。これから「なかよしタイム」を過ごしながらか、少しずつ小学校生活に慣れていきます。

また、「わくわくタイム」では2年生と一緒に学校探検をしています。校長室にも来て元気に挨拶をしてくれました。そして、2年生がわかりやすく校長室についての説明をしていました。それからは、会うたびに笑顔で声をかけてくれるようになっていきます。6年生が「学校の顔」なら、1年生は「学校の癒やし」を体現してくれています。

教育界では小学校を「笑学校」とも書いたりします。踏まえて私が勝手に創った造語が、笑顔が絶えず学ぶことが好きになる「笑学好」です。北小学校がそうなるといい。

【北小のストロングマン】

実は本校にも、第39回宮古島トライアスロンを完走した強者がおります。教務主任を担当している「下里 和也」先生です。

スイム3km、バイク123km、ラン35kmと戦う姿は、リリシさがいつもの3倍増だったと報告を受けています。

☆和也先生へのインタビュー☆

Q 1、完走回数はいくつ？

○ 9回です

Q 2、子供たちに一言

○ あきらめずに一步一步進めば必ずゴールできる

北小の皆さん、大好きなことは「ネバーネバーギブアップ」です。



「てくてく登校へのお礼」

【朝のてくてく登校】へのご理解とご協力ありがとうございます。ルール遵守の模範を子供たちに示していただき心からお礼を申し上げます。

宮古島トライアスロン感銘記

現在のところ「森岡秀文さん」しか着用できない「385（みやこ）」のゼッケンを前方に掲げ、宮古島トライアスロンへ29回も出場した想いを聴かせていただきました。

多くの人を引きつけてやまない魅力の持ち主なのが講話からも伺えました。6年生は、楽しくも切ない波瀾万丈な森岡さんの人生行路に興味津々に聴いていました。

完走したメダルは惜しげもなく北小学校へ寄贈してくれています。

コール&レスポンスがいいので、「とても話しやすかったです」と聴く態度を褒めていただきました。

宮古島および北小学校を好意にしてくれているおかげで活きた教材としての学びがありました。感謝感激です。

もりおかひでふみ

○ 森岡秀文（埼玉県在住：宮古島大好き公務員）

<森岡 秀文さんへのお礼の言葉>

森岡さん、今日はお忙しい中、北小学校に来てくれてありがとうございます。ぼくは、紙芝居を見てトライアスロンってとてもいいものだなあと思いました。

僕も挑戦したいです。

【児童代表 6年 狩俣 旬】